



# 社会新報 (岡山県連合版)

2017年6月18日  
(共謀罪:号外)

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)  
〒104-0043 東京都中央区湊3-18-17マルキ複合ビル5F  
TEL.03-3553-3731 1部 184円・月700円

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

発行責任者 武本恒夫

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: shamin.okayama@fancy.ocn.ne.jp



【17日昼、岡山駅前での山口二郎法大教授の話(要旨)】(写真は、おかやまいっほんと4野党)

## 「共謀罪は見えないクサリ」

「共謀罪」法案は、違憲の疑いが極めて濃厚な治安立法だ。憲法の罪刑法定主義はどういうことをしたら罪になるか、どのような刑を受けるのか書かれていなければならない。これが近代刑法・憲法の大原則だ。今回の「共謀罪」法案では、共謀とは何か、計画とは何か、(例えばゼミ資料のコピーを相談など)日常生活のどこにでもあつたような行為が罪の対象になる。摘発、立件するために警察に非常に大きな解釈の余地、裁量が与えられる。これが本当に危ない。自由に、闊達に活動する、議論することについて「見えないクサリ」をかけて手足を縛る。これが「共謀罪」の悪質なところだ。テロとの戦いとかオリンピックに必要なだというのが全くウソだ。共謀罪とは全く関係がない。看板のすり替えでテロという言葉で国民を恐れさせ、だまし討ちで押し切った。これほどひどい国会を見たことがない。

## 日本が文明社会でなくなる境目

文明社会か野蛮な国に転落するか、境目にきている。文明と野蛮とは何か。野蛮とは、権力を持ったものが周りを無視して好きなように力をふるうこと。文明とは、法治国家だ。



写真上から  
6/17昼:岡山駅前  
6/16昼:岡山市内西川平和の像前  
6/16夕:岡山駅前  
6/10昼:岡山市内 集会とパレード



# いまこそ自覚した市民の力を示そう

シき、同以社でまい▼ベ会許街の▼た。い連高なの「政▼  
で、日下民街い日6政政・さ宣座ア。に日校い。の暴力「中  
連、両午で党宣、宮、山、ぼし1を社い行み政治の戦「生。も1」に  
帯、会後、は、田、山、ん、の7監・たなつ議の民謀発言、日よる  
場、水、山、口、主、中、昼、視し現にた。「同おの義、廃パ弁国、  
社、も、島、口、代、主、催、1、よ、の「思な日ごりの案、護の、  
民、1、の、力、法、で、6、岡、山、と、由、想、ん、と、刻、と、横、暴、  
党、8、訴、強、政、野、0、名、駅、訴、信、と、信、条、し、は、野、  
の、民、1、の、力、法、で、6、岡、山、と、由、想、ん、と、刻、と、横、暴、  
決、党、8、訴、強、政、野、0、名、駅、訴、信、と、信、条、し、は、野、  
意、は、日、え、く、大、党、4、が、集、ま、り、  
を、あ、津、山、告、を、も、握、っ、け、  
表、明、さ、し、つ、開、催、の、メ、ツ、と、セ、つ、  
づ、は、



力があっても法には従うのが文明社会だ。「森友・加計」問題で役人たちが権力の意向をおもんばかって公文書を捨てる、情報を隠すのは1つの野蛮の現われだ。首相のお友達だからと、タダ同然で譲渡する、他を押しつけて認可を与える、これは許認可権の公私混同、けじめがない権力乱用だ。公務員は全体の奉仕者でなく、権力者の奉仕者になり下がり、だから権力者が「ない」といったら、「あったことをないこと」にする。そのために違法な文書廃棄までする。一部官僚たちは権力者の下僕になって恥じない。とんでもない腐敗が政府の内部で進んでいる

## 市民にキバむく共謀罪

その腐敗権力が市民社会へキバをむこうとしている。罪刑法定主義の否定、この法律を運用する政府の権力で、いかようにも解釈する、市民に対して「キバ」をむくことができる。これも野蛮の1つの現われだ。日本を文明社会として守っ

ていけるか、立憲主義、民主主義や法の支配を守っていけるかどうか、非常事態に直面していると言わなければならない

## アベ政治への怒りを燎原の火のように

このような政治の危機に対して、どのような取り組みができるか。安保法制のときのシールズやママの会、学者の仲間と市民連合を立ち上げて、次の選挙に向けて野党統一候補の協力の働きかけをしている。東京での活動に呼応して、地方レベルの様々な市民連合が結成されている。アベ政治を止めるためには、ともかくも、危機感を共有する野党と良識ある市民が力を合わせ、手をたすさえ、アベ政治の議席を1つでも減らす、過半数割れさせる展望をもって戦うことだ。この間のアベ政治への怒りをしっかりと胸に刻んで、記憶して、体制をつくっていこう。全国で燎原の火のように、立憲主義を守っていく運動を広げよう。

(報告・文責:のざき)